



阪養会・阪特会だより

令和3年8月 阪養会・阪特会発行

阪養会・阪特会の皆様、お元気でお過ごしですか？ コロナ禍の中、東京2020オリンピックが始まりました。連日熱戦が繰り広げられ、日本選手の活躍をワクワクしながら応援されていることと思います。24日からはパラリンピックが始まります。最後まであきらめない選手たちの頑張りをしっかり応援したいですね。



＊ ＊ 阪養会・阪特会のみなさまへ ＊ ＊

校長 塚本 久義

平素は、本校の教育活動にご理解、ご支援をいただきありがとうございます。

卒業生のみなさん、お元気ですか？それぞれの場所で元気にご活躍されていることと思います。

学校は、今年こそ、予定していた体育大会や宿泊行事、遠足、プールなど計画通りできるものと信じていました。

しかし、緊急事態宣言の発令やまん延防止等重点措置区域など、厳しい状況が続いたことから、各行事等の開催を中止や延期とせざるを得ない状況となってしまいました。

このことから、例年、阪養会・阪特会のみな様にもお声かけし、参加して頂いていた体育大会の案内もできず、お顔を拝見できなかったことが残念でなりません。

このような中、4月9日には本校の入学式を開催し、小学部14名、中学部34名、高等部40名、高等部訪問学級1名、分教室15名、合計で104名の新生を迎え入れることができました。全校児童生徒数は、364名となりました。そして、この4月から、新しく43名の先生方もお迎えすることができました。とても心強く思っています。

さて、阪養会・阪特会は、過去3年間、新型コロナウイルスの感染拡大や天候の影響で中止となり、今年度の開催も新型コロナウイルスの影響で中止せざるを得ない状況となってしまいました。

阪養会・阪特会の集いは、これまで、本校を卒業された先輩方や保護者のみなさん、地域の方々、そして教職員が協力して作り上げてきた伝統のある素晴らしいイベントでした。たくさんの人たちが一同に会し、近況を報告したり、仲間と過ごした日々を振り返る大切な機会となってしまいました。

しかし、昨今、新しい生活様式が求められ、大勢が集まるイベントの開催が難しいことや役員の方々の高齢化など課題が生じています。

阪養会・阪特会の今後の運営方法や在り方など、役員のみなさまを中心に話し合いを重ねているところです。

このことから、懐かしい仲間や保護者、恩師とかけがえのない宝物をどのように継承していくのか、これまで培ってきた実績を踏まえ、創意工夫しながら、「今、できることを」学校も一緒に、考えています。引き続き、役員のみな様をはじめ、数多くの阪養会・阪特会のみな様には、お世話になりますが、よろしく申し上げます。



＊ ＊着任の挨拶＊ ＊

教頭 丸山 盟子

この度、教頭に着任しました丸山盟子です。よろしくお願いいたします。

本校に赴任してから今年で6年目となります。赴任した年に受け持った小学部6年生の児童が、今年度は高等部2年生となり、卒業後に向けて現場実習等、着々と準備を始めている姿を頼もしく思いながら、月日の経つのは早いなあ、と改めて感じている次第です。

きっと、同窓生やご家族の皆様にとっても、本校卒業後の日々は目まぐるしく、学校にいた頃の一日一日が、長くてかけがえのないものに思えるのではないのでしょうか。

コロナの終息はまだ見通せませんが、新しい生活様式の中で頑張っておられる卒業生と、ご家族の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



＊ ＊着任の挨拶＊ ＊

分教室教頭 松本 里華

今年度より県立猪名川高等学校から阪神特別支援学校分教室に着任しました教頭の松本里華です。

4月から着任し、1学期が終わった今「継続する」ことの尊さを実感し、頑張っている生徒に次の言葉を贈りたいと思います。

「敬愛和行」(人を愛し、仲良く生きていこう)

「究理経学」(心理を求め、学び続けよう)

生徒の成長を見守り、分教室一丸で頑張る所存です。どうぞ、よろしくお願いいたします。



～お知らせ～

今年度、10月に予定していました「**阪養会・阪特会**」は中止とします。

まだまだ新型コロナウイルス感染症の収束が見えない状況の中、安心・安全な会を開くことは難しいと判断しました。ご理解、ご了承ください。

また、来年度以降の開催については、

- これまでのように600人近くの人数が集まったの会を開くことは難しい
- 役員の引き継ぎができなく運営の継続が難しい

などの理由から、学校側とも話し合い、同窓生全体の集まりは行わず、成人を祝う会を中心にやっていく方向で検討しています。今後の詳細はまたお知らせいたします。

